

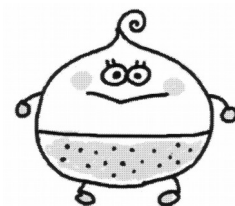
HDM推進会（第 58回）／ごみゼロネット推進会（第 80回）議事録

開催日： 2015 年 (H27 年) 1 月 14 日 (水) 10:00 ～ 11:50

場 所： コミュニティサロン・はけ

出席者： 大橋、加藤、杉本、川村、山本、蜂谷、桐生（作成）

議 題：



1. 資料「密閉型HDM処理施設の除湿脱臭法の可行性試算」（桐生作成 2014/12/10付け） についての説明

都市型HDM処理施設が解決すべき課題6項目を挙げ、解決する手段4項目として「排気脱臭だけではなく、屋内の除湿脱臭が不可欠」と結論、「ヒートポンプ式除湿器」を使い「屋上に太陽光発電パネルを敷き詰めれば所要電力の多くを自給可能」と数値例を挙げて説明した。具体的には生ごみ20ト/日対応でヒートポンプ方式で水分蒸発量10ト/日処理するプラントで試算、家庭用の1kWヒートポンプ120台(120kW)で処理可能と判断し、熊谷清掃社並みの1,350㎡の工場なら、屋根部に太陽光パネルを敷き詰めmax.200kW発電可能と試算例を示した。ヒートポンプの設置方法5項目、提案7項目を挙げている。

2. ごみ処理基本計画案についての討議（全員）

本件については9月の会議以降毎月問題点が指摘されているので、詳細は9～12月の議事録を見ていただきたい。それにしてもこれほど酷い基本計画書はないし、これが市議会で問題になっていないのは理解しがたい。パブリックコメントの時期も信じ難いスケジュール（パブコメは基本計画に反映不能な時期を設定）である。その資料も公民館等に殆ど置かなかった。市民集会を行って問題として取り上げているのが共産党だけという無気力ぶりにも驚かされる。市議会でははや機能していないのではなかろうか。

それにしてもごみ対策課の基本計画は酷い。三市共同処理で事業系ごみが約2000ト自治体処理に戻ってくるといふとんでも無い計画を出し、過去のごみ処理量もそれに合わせるために改竄する等、市民に対する裏切り行為を平然と行っている。

3. 林氏が書いた「小金井市のごみ問題は、今」の検討（全員）

この会でごみ問題の市民啓蒙運動を起こさざるを得ない状況と判断するに至った。何人かの人の案出されているが、今回は林氏が事前に会員にメールしたチラシを検討した。

「現状」については原案でほぼOK。「経緯・動き」には表現等で改訂提案が3箇所ほどある。

チラシとしてのデザインは硬直過ぎて、女性には直ぐ屑籠行きになりそうだ。

チョットしたイラストを入れ、字体もゴシック、明朝、丸文字等を適宜配して、読んでもらえるチラシにしたいとの積極的な提案が続出した。用紙の手配、印刷の資金、ポスティング等、具体的な討議となった。

林さま。貴方が出してくれたので、ここまで具体的な討議になったのです。ご容赦ください。

以上

次回打合せ 2月11日（水）10:00～12:00 コミュニティサロン・はけ